

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策について 地域との協力体制はできているが、地域住民と一緒に参加し行う避難訓練が実施できていない。	グループホームに入所している認知症高齢者の状況を理解し、災害時の避難誘導がスムーズに行われるよう地域住民の協力を得、訓練を実施する。	地域の行事等に参加したり、町内の役員や有職者の方等を通じ、地域住民の参加協力をお願いする。	12か月
2	49	○日常的な外出支援 新型コロナウイルス感染拡大にともない、なかなか外出できない状況である。また精神的にもストレスを感じている。	新型コロナウイルスが終息したら、入居者さんの希望に添い、食事や買い物、馴染みの場所への外出支援を行う。また、家族や友人との交流をはかる。	入居者さんが、家族や友人等とコミュニケーションをはかれるよう協力援助する。(現在は、コミュニケーションツール(LINE電話等)を使い、面会を行っている。)	12か月
3	4	○運営推進会議を活かした取り組み 会議において数回の家族の参加が見込めたが、仕事の都合、入居者以外の家族の介護、支援者自身の病気等、参加困難理由があり、参加が難しい。参加呼びかけの継続実施、取り組みについての理解を得るようにする。	運営推進会議録の内容に興味を持って頂けるよう課題設定を、身近な問題に設定してみる。	お誕生会等、行事を盛り込み家族の参加しやすい会議とする。面会時等、問題を提起し、解決に向けた参考意見を頂く。	12か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。